

【図表4】 学生調査の質問項目

THE世界大学ランキング日本版2019の指標	質問内容	日米欧共通質問
教員・学生の交流、協働学習の機会	①あなたの大学における学習経験の中で、教授陣や先生方と交流する機会はどの程度ありますか。	●
	②あなたの大学では、協働学習(協働学習)の機会はどの程度ありますか。	●
授業・指導の充実度	③あなたの大学の指導では、クリティカル・シンキングのスキルの成長が支援される機会がどの程度ありますか。	●
	④あなたの大学の指導では、学んだことをじっくり検討したり、学んだことを相互に結びつけたりすることを支援される機会がどの程度ありますか。	●
	⑤あなたの大学の指導では、学習内容を実社会に応用することが支援される機会がどの程度ありますか。	●
	⑥あなたがこれまで大学で受講した授業は、あなたにとって挑戦/やりがいのあるものでしたか。	●
大学の推奨度	⑦あなたの友人や家族が大学に行くことを検討していたら、どの程度あなたの通う大学を勧めますか。	●
	⑧あなたの大学では、授業や大学の運営の改善に関して学生が提案する機会がありますか。	●
	⑨あなたの大学は、授業や大学の運営に対する学生の提案がどのように実施されたか、明らかにされていると思いますか。	●
	⑩大学の学部や学科、研究室で学ぶことは、自分に自信を与えてくれますか。	●
	⑪あなたは、大学の教員やスタッフ、学生のコミュニティの一部だと感じることがありますか。	●
	⑫もし過去に戻り、入学する大学を選び直せるとしたら、現在通っている大学を選びますか。	—
	⑬あなたは、現在の大学で学ぶことで、入学した時と比べて自分が成長したと思いますか。	—
	⑭あなたの大学は、グローバル人材の育成に力を入れていると思いますか。	—
	⑮あなたの大学は、社会の変化に対応したカリキュラムになっていると思いますか。	—
	⑯あなたの大学では、専攻以外の知識や経験を積み重ねていくことに対する支援がありますか。	—

・質問①～⑦：THE世界大学ランキング日本版2019に使用。・質問⑧～⑩：THE世界大学ランキング日本版2019には不使用。欧米との比較検証に使用。  
 ・質問⑪～⑯：THE世界大学ランキング日本版2019には不使用。日本独自の調査。

【図表2】 欧州教育カランキング TOP10 (2018)

順位	教育機関名
1	オックスフォード大学(英)
2	ケンブリッジ大学(英)
3	ソルボンヌ大学(仏)
4	ウォーリック大学(英)
5	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(英)
6	ブリストル大学(英)
7	マンチェスター大学(英)
8	ナバラ大学(西)
9	ニューカッスル大学(英)
9	ヨーク大学(英)

【図表3】 米国教育カランキング TOP10 (2019)

順位	教育機関名
1	ハーバード大学
2	マサチューセッツ工科大学
3	イェール大学
4	コロンビア大学
5	カリフォルニア工科大学
6	スタンフォード大学
7	ブラウン大学
7	デューク大学
9	プリンストン大学
10	ペンシルベニア大学

【図表1】 各教育カランキングの指標一覧(アメリカ・日本・ヨーロッパ) ★は学生調査の結果を使用

	アメリカ		日本		ヨーロッパ*1	
	項目	割合(%)	項目	割合(%)	項目	割合(%)
教育リソース	学生一人あたりの教員比率	11	学生一人あたりの教員比率	8	学生一人あたりの教員比率	7.5
	教員一人あたりの論文数	8	教員一人あたりの論文数	7	教員一人あたりの論文数	7.5
	学生一人あたりの資金	11	学生一人あたりの資金	8	教材へのアクセスと環境の質★	5
			大学合格者の学力	6		
			教員一人あたりの競争的資金獲得数	5		
	合計	30	合計	34	合計	20
教育成果	研究者の評判調査	10	研究者の評判調査	8	研究者の評判調査	10
	卒業率	11	企業人事の評判調査	8	卒業率	5
	卒業生の給与	12			社会で有用なスキル開発★	5
	学生ローンの返済能力	7				
	合計	40	合計	16	合計	20
教育充実度	授業・指導の充実度★	7	授業・指導の充実度★	6	授業・指導の充実度★	10
	教員・学生の交流、協働学習の機会★	4	教員・学生の交流、協働学習の機会★	6	教員・学生の交流、協働学習の機会★	10
	大学の推奨度★	6	大学の推奨度★	6	大学の推奨度★	10
	認定プログラム数	3	グローバル人材育成の重視	6	インターンシップの機会提供★	5
			入学後の能力伸長	6	実社会について学ぶ機会★	5
	合計	20	合計	30	合計	40
環境(国際性)	外国人学生比率	2	外国人学生比率	5	女子学生比率	10
	学生の人種・民族の多様性	3	外国語で行われている講座比率	5	女性教員比率	10
	教員の人種・民族の多様性	3	日本人学生の留学比率	5		
	大学進学第1世代の学生割合*2	2	外国人教員比率	5		
	合計	10	合計	20	合計	20

\*1 イギリス、スペイン、フランス、ドイツ、イタリア、アイルランド、オランダ、ポルトガル \*2 家族の中で大学に進学した最初の学生

# Opinion

## 学生調査の国際比較と日本の大学への期待

大学ランキング、学生調査の国際比較において見えてくる日本の大学の強み、課題は何か？  
 THEのデータ解析責任者ダンカン・ロスが分析する。



Times Higher Education  
 データ・解析ディレクター  
**ダンカン・ロス**

取材・文/本間学 撮影/伊藤元章

### ランキングから見える日本の大学の課題

今、大学は優れた研究成果を挙げ、よい教育を提供するよう、さまざまな方面からプレッシャーをかけられています。しかし、リソースは限られている。これは日本に限った話ではなく、世界中の大学も同じ状況です。だからこそデータを基に、自国の国内での位置付け、世界の中での位置付けを洞察して改革を行い、ブランディングに取り組むことが重要です。

まず、研究力についてはTHE世界大学ランキング2019の結果を分析すると、日本の大学が抱える課題が見えてきます。日本の場合、GDPに比べて平均スコアが高くなく、その要因の一つは「被引用論文」の低さにあります。よい研究・論文であっても、それが自らプロモーションするわけでは

ありません。外に語り掛け、自分たちが行っていることをもっと広める努力が求められます。

加えて、研究者による「評判調査」も課題です。日本の大学へ投票した者の多くは、日本の研究者で、海外からはほとんどありません。対照的なのはシンガポール国立大学で、マレー半島以外の各国から投票されています。

一方で、分野別のランキングを見ると、生命科学や物理科学、工学・技術、臨床医学の分野では100位以内に日本の大学が多数ランキングしています。まずは特定の分野で強みを発揮し、大学のプレゼンス向上に努めてはいいかがでしょうか。

### 学生調査を用いた教育力の国際比較

THEでは研究力に焦点を当て

## 日米欧共通の学生調査により教育の特徴がより明らかに

た世界大学ランキングのほかに、教育力に焦点を当てた教育力ランキングを、日本、アメリカ、ヨーロッパで実施しています。ランキングを構成する4分野は共通ですが、各国・地域の特徴をふまえて、一部の項目とその割合は変えています【図表1】。例えば、学費が高いアメリカでは学生も保護者もアウトカムを重視するため、教育成果の比重を重くし、「卒業6年後の給与」という指標を入れています。

アメリカ、ヨーロッパの教育力ランキングを見ると、研究力重視のランキングとは異なる傾向が見られます【図表2、3】。ヨーロッパでは、ナバラ大学、ニューカッスル大学、ヨーク大学など、世界ランキングでは上位に入っていない大学がトップ10にランクインしています。アメリカの場合、資金力が強い大学が上位に位置しています。これは資金を教育に投資することができるからです。そのため、相対的に州立大学が下がっています。今回の日本版ランキングから

は、その指標に学生調査の結果を加えています。実際に在学生に聞いた16項目のうち、7項目をスコアに反映させています【図表4】。また、16項目のうち11項目はアメリカ、ヨーロッパと共通の質問にしており、これにより国際比較が可能になりました。例えば「授業は挑戦/やりがいがあるものか」という項目では日本の大学が最もスコアが低かった一方、アメリカはこの質問で最もスコアが高いという結果でした。「クリティカル・シンキングのスキルの成長支援」に関しては、日本のスコアはそれほど低くはありません。イタリアやドイツと比べても高くなっており、フランスとは同等です。「授業や大学の運営の改善に関して、学生が提案する機会があるか」という項目では、日本の大学は非常に低いスコアを出していますが、「その提案が実施されたか」は低いスコアでした。このように学生調査の結果を比較することによって、各国の教育の特徴や課題を明確にすることができました。



# SDGsへの貢献度が高い日本の大学 ～THE大学インパクトランキング2019結果

## 総合インパクトランキング (日本のランキン大学)

順位	教育機関
48	京都大学
52	東京大学
91	慶應義塾大学
101-200	千葉大学
	北海道大学
	金沢大学
	名古屋市立大学
	大阪大学
	創価大学
	東京工業大学
	宇都宮大学
	山口大学
	横浜市立大学
	広島大学
	香川大学
	三重大学
	大阪市立大学
	東京理科大学
301+	千葉工業大学
	中央大学
	中央大学
	群馬大学
	羽衣国際大学
	国際基督教大学
	順天堂大学
	神奈川大学
	神田外語大学
	熊本大学
	関西学院大学
	武庫川女子大学
	長岡技術科学大学
	長崎大学
	岡山大学
	大阪府立大学
	立命館アジア太平洋大学
	成蹊大学
	芝浦工業大学
	東北学院大学
	東海大学
	東京農業大学
	鳥取大学

## SDGs目標3 保健

順位	教育機関
15	名古屋市立大学
53	藤田医科大学
69	順天堂大学
101-200	秋田大学
	群馬大学
	北海道大学
	慶應義塾大学
	神奈川歯科大学
	金沢大学
	関西医科大学
	慶應義塾大学
	熊本大学
	京都大学
	長崎大学
	岡山大学
	大阪大学
	大阪市立大学
	東京大学
	横浜市立大学

## SDGs目標4 教育

順位	教育機関
62	神田外語大学
101-200	京都大学
	鳥取大学
	宇都宮大学

## SDGs目標5 ジェンダー

順位	教育機関
101-200	国際基督教大学
	関西大学
	京都大学
	三重大学
	大阪大学
	鳥取大学
	宇都宮大学

## SDGs目標8 成長・雇用

順位	教育機関
39	京都大学
=53	東京大学
=79	大阪市立大学
=86	金沢大学
89	宇都宮大学
100	大阪大学
101-200	千葉大学
	香川大学
	関西学院大学
	三重大学
	長岡技術科学大学
	名古屋市立大学
	岡山大学
	創価大学
	東京農業大学
	東京都市大学
	東京理科大学

## SDGs目標9 イノベーション

順位	教育機関
2	東京大学
12	東京工業大学
=17	東北大学
36	北海道大学
37	慶應義塾大学
38	京都大学
45	広島大学
101-200	千葉大学
	群馬大学
	金沢大学
	三重大学
	長岡技術科学大学
	名古屋市立大学
	大阪大学
	大阪市立大学
	神奈川大学
	慶應義塾大学
	熊本大学
	長崎大学
	大阪府立大学
	東海大学
	東京理科大学
	鳥取大学
	山口大学
	横浜市立大学

## SDGs目標10 不平等

順位	教育機関
82	宇都宮大学
101-200	千葉大学
	国際基督教大学
	関西大学
	京都大学
	三重大学
	大阪大学
	鳥取大学
	東京大学
	横浜市立大学

## SDGs目標11 都市

順位	教育機関
69	東京大学
92	千葉大学
96	大阪大学
101-200	千葉工業大学
	北海道大学
	神奈川大学
	金沢大学
	慶應義塾大学
	京都大学
	三重大学
	長岡技術科学大学
	名古屋市立大学
	岡山大学
	東海大学
	東京工業大学
	宇都宮大学

## SDGs目標12 生産・消費

順位	教育機関
31	三重大学
33	京都大学
39	香川大学
40	金沢大学
44	横浜市立大学
64	千葉大学
66	東京大学
73	山口大学
78	長岡技術科学大学
=81	大阪大学
86	成蹊大学
101-200	千葉工業大学
	中央大学
	北海道大学
	神奈川大学
	慶應義塾大学
	熊本大学
	長崎大学
	大阪府立大学
	東海大学
	東京理科大学
	鳥取大学
	山口大学
	東北学院大学
	東海大学
	東京農業大学
	東京理科大学

## SDGs目標13 気候変動

順位	教育機関
6	京都大学
20	東京大学
=35	東京理科大学
52	宇都宮大学
=73	千葉大学
=73	三重大学
79	北海道大学
=88	山口大学
=93	長岡技術科学大学
101-200	中央大学
	香川大学
	神奈川大学
	熊本大学
	長崎大学
	大阪大学
	成蹊大学
	東北学院大学
	東海大学
	鳥取大学
	横浜市立大学

## SDGs目標16 平和

順位	教育機関
=8	京都大学
34	東京大学
61	創価大学
67	慶應義塾大学
71	関西学院大学
79	金沢大学
87	山口大学
88	千葉大学
101-200	中央大学
	広島大学
	国際基督教大学
	香川大学
	神奈川大学
	三重大学
	長岡技術科学大学
	大阪大学
	東北学院大学
	東海大学
	宇都宮大学
	横浜市立大学

## SDGs目標17 実施手段

順位	教育機関
37	慶應義塾大学
55	山口大学
=67	名古屋市立大学
69	東京大学
=81	京都大学
85	大阪大学
88	北海道大学
=95	創価大学
101-200	千葉工業大学
	宇都宮大学
	横浜市立大学

■ 国立大学  
■ 公立大学  
■ 私立大学

## インパクトランキングの指標になった11目標

目標3 すべての人に健康と福祉を	目標11 住み続けられるまちづくりを
目標4 質の高い教育をみんなに	目標12 つくる責任つかう責任
目標5 ジェンダー平等を実現しよう	目標13 気候変動に具体的な対策を
目標8 働きがいも経済成長も	目標16 平和と公正をすべての人に
目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	目標17 パートナーシップで目標を達成しよう
目標10 人や国の不平等をなくそう	

## 日本の存在感が光るSDGsのランキング

THEでは2019年4月に新たに、「大学インパクトランキング (University Impact Rankings)」を発表しました。これは、国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) に対する各大学の取り組みに焦点を当てたランキングです。インパクトランキングでは、SDGsの17目標のうち、大学と関連が深い11目標を指標に取り入れました。

日本からは41大学がランキングしており、国別で最大の数でした。SDGsの目標別では20位以内に、目標3「すべての人に健康と福祉を」で1大学、目標9「産業と技術革新の基盤をつくらう」で3大学、目標13「気候変動に具体的な対策を」で2大学、目標16「平和と公正をすべての人に」で1大学が、ランキングしています。その顔ぶれや順位を見ると、従来のランキングとは異なった面で大学に光を当てたランキングだといことがわかるはずです。

こうしたランキングは大学のさまざまな取り組みを可視化し、世界に示すものです。この機会を捉えて、自学のブランディングに活用してはどうでしょうか。



学生数 / 30727人  
学部および大学院プログラムは、次の学部・スクールで提供 / 文学・語学・社会科学、経営学、情報工学、継続・生涯教育、歯学、デザイン・環境学、工学、総合科学・工学、法学、医学、音楽学、公衆衛生、公共政策、理・科学、ユニバーシティ・スカラース・プログラム (USP)、イェール・NUSカレッジ、デューク・NUSメディカル・スクール  
▶ THE世界大学ランキング2019 / 23位 ▶ 同アジア大学ランキング2019 / 2位  
▶ 同世界大学評判ランキング2018 / 24位

## 海外事例

# シンガポール国立大学 大学のミッションと ブランド構築戦略



シンガポール国立大学  
首席広報官

## オヴィディア・ リム・ラジャラム

判が傷つくと学位の価値が下がってしまいます。そのため、学生や卒業生、寄附者の声に耳を傾け、その考えを積極的に知るようにしています。

また、学内の綿密なコミュニケーションも欠かせません。私は首席広報官として学長やプロボストと、毎日のようにディスカッションをしています。大学の構成員が同じ価値観のもと、自学が歩む方向性に対して意見を持つことが重要なのです。

## 海外連携、構成員の声、優れた教育が大学の評判を高め、広めてくれる

2000年ごろからは研究力強化のために、海外大学とのアライアンスの構築を積極的に推し進めています。リソースに限られる中で、全てを自学でゼロから立ち上げる必要はないとの考えからです。また、海外大学との協働を通じて、これまで存在しなかったものを生み出すことができます。例えばイェール・NUSカレッジでは、リベラルアーツを通して東洋と西洋の概念を同時に学ぶことが可能です。

大学運営面でも連携を進めています。本学の職員を海外大学へ派遣することもありますし、われわれが受け入れることもあります。これによってスタッフのレベルは着実に上がっています。

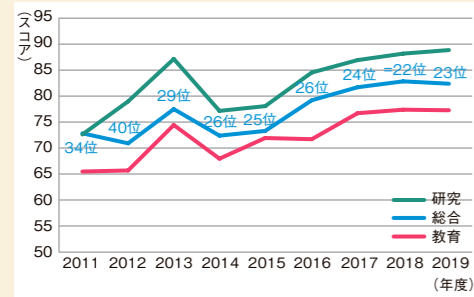
起業家教育にも海外大との提携を活用しています。NUS Overseas Collegesは本学が展開する海外12拠点で、昼間はベンチャー企業でインターンとして働き、夜間は提携大学で学ぶプログラムです。修了生はすでに2800人以上を数え、370以上の企業をスタートアップさせています。このプログラムはオバマ前米大統領にも評価されました。

大学の評判は、大学が存在しない場づくられるものです。優れた教育・研究機関と協働し、構成員の意見に耳を傾け、社会にすばらしい教育を提供する。これにより連携先の関係者や学生、同窓生が、大学のよい評判を広め、それがさらなる評判につながるのです。

生は社会人向け短期コースを低価格で受講できるようにしている。AIやデータ解析、医療、人文学などのコースがあるという。

「社会人は大学に戻り、最先端の知識、新しい友人を得ることができる。このことは、教員や在校生にもよい影響を与える。教員は教えていることが現実社会からかけ離れていないかを知ることができるし、学生も社会人から学ぶことは多い。理想的な学び合いの場と言えます」(リム・ラジャラム氏)。

## THE 世界大学ランキングの順位・スコア推移



## リーダーシップと意思決定、 構成員とのつながりを重要視

本学はわが国唯一の国立総合大学です。1905年に設立された医学学校がルーツで、1980年に南洋大学、シンガポール大学と合併して現在のシンガポール国立大学(NUS)が生まれました。転機となったのは2005年です。政府との取り決めで、プログラムの策定や重点化する研究分野をある程度自由に決定できるようになり、ユニークな特徴を持つことが可能になりました。

ブランド構築のために、私たちが重要視している点は3つあります。1つ目は「卓越したリーダーシップ」です。リーダーが率先して方針を示さなければ、他大学との差別化は図れません。リーダーが「大学を発展させたい」「イノベーションを起こしたい」と強く思うことで、初めて物事が前進するのです。

2つ目は「慎重な意思決定」です。大学間の資金獲得競争は激しさを増しています。本学のような大規模大学でも、同時に全てのことに挑戦するのは不可能です。何が重要であるかを慎重に判断し、優先順位をつける必要があります。

3つ目は「誠実なつながり」です。私たちはよい評判を保つことを第一に考えています。本学の評

## 注目! NUSのリカレント教育施策 ～学籍は入学後20年間有効

日本以上に、少子化が進むシンガポールでは、政府が主導してリカレント教育を推進している。国民が長期にわたって社会で活躍するためには、知識のアップデートが必要だからだ。それに応じてNUSは、学生の学籍を入学後20年間登録し続け、卒業

## NUSの 生涯教育モデル

